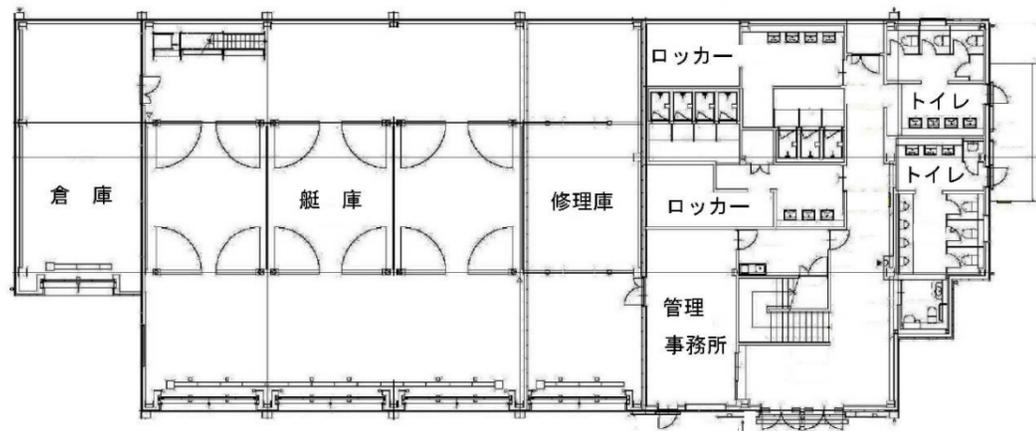
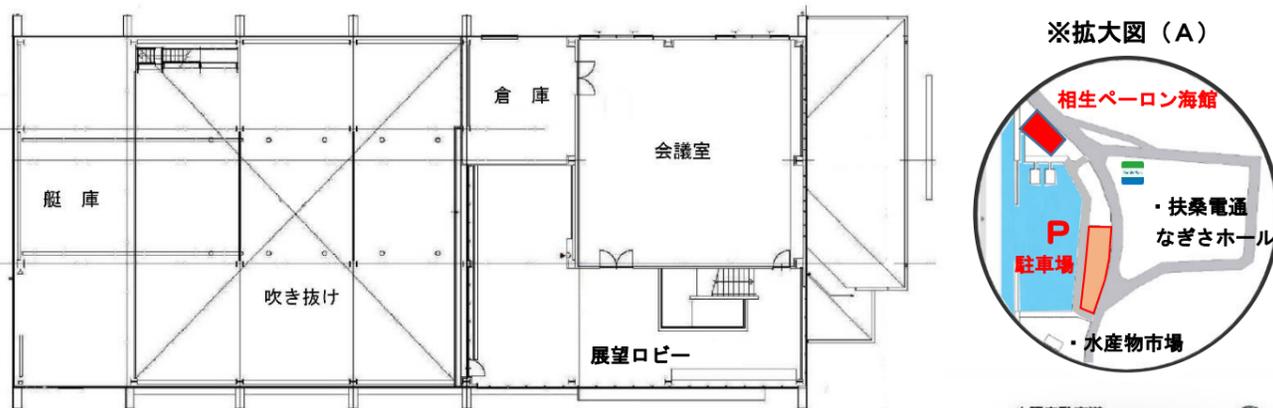


1階



2階



《交通案内》

- JR相生駅から南へ3km
(相生港行きバス10分 相生港(扶桑電通なごさホール前)下車)
- 山陽自動車道龍野西ICから約6km(15分)

《連絡先》

- 相生ペーロン海館
〒678-0041 兵庫県相生市相生六丁目7番地
- 相生市地域振興課
TEL 0791-23-7133 FAX 0791-23-7137



相生ペーロン海館



Aioi Peron Boathouse & Museum

相生ペーロン

伝統の継承・文化の振興
ペーロン伝来100周年にむけて

- 「交流」「発信」「伝承」の拠点
- 地域住民の交流や観光の振興
- 住民参加による相生湾の活性化



相生ペーロン 伝来 100 周年! その先の未来へ

ペーロンの伝来、相生ペーロン祭のはじまり

ペーロン競漕は、大正11年（1922年）に播磨造船所（現（株）IHI 相生事業所）の長崎県出身の従業員によって長崎から相生の地に伝えられ、終戦までは毎年5月27日の海軍記念日に同社構内の天白神社の祭礼として行われてきました。



戦後は、相生市、商工会議所、播磨造船所の共催による「相生港まつり」として続けられ、昭和38年からは「相生ペーロン祭」を開催し、海上花火大会、陸上パレードとともに、海上行事としてペーロン競漕が毎年盛大に行われています。ドン、デン、ジャンと中国特有の銅鑼（ドラ）と太鼓の音に合わせて力漕するペーロン船の姿は、まさに龍が水面を駆けるようで壮観そのものです。



ペーロン艇庫

相生ペーロンの船とペーロン競漕

現在の相生ペーロンの船は、全長約13mの木造の和船で、それぞれに龍の名がついており、漕ぎ手28名、艇長、舵取り、銅鑼、太鼓の計32名が乗船し競漕を行います。

毎年5月の最終日曜日に開催する相生ペーロン祭では、ペーロン船4艇が全長300mのコースを一往復（又は一往復半）し、その速さを競います。祭当日は、市内外より約60チームが参加し、熱気あふれる競漕を繰り広げます。

相生ペーロン海館の開設

相生ペーロンは、平成34年（2022年）に、伝来100周年を迎えます。

相生ペーロンの伝統と文化を次世代に継承し、広く振興を図るため、その拠点として平成29年（2017年）に「相生ペーロン海館」を設置しました。

また、同年に国土交通省より「みなとオアシスあいおい」の認定を受け、みなとを核とした交流の場として地域の活性化を図っていきます。



相生ペーロンの歴史

年号	内容
大正11年（1922年）	長崎からペーロン競漕が伝わり、播磨造船所海上運動会として開催。
昭和38年（1963年）	相生ペーロン祭初開催。海上の部としてペーロン競漕大会を開催。
平成4年（1992年）	相生ペーロン協会設立。
平成9年（1997年）	相生白龍城にペーロン海館開設。
平成14年（2002年）	長崎市とペーロン友好都市提携の締結。交流の活発化。
平成17年（2005年）	高知県須崎市と龍舟交流都市提携の締結。
平成28年（2016年）	「相生ペーロン」相生市無形民俗文化財に指定。
平成29年（2017年）	相生ペーロン海館開設。（平成29年9月18日オープン）
平成34年（2022年）	相生ペーロン伝来100周年。



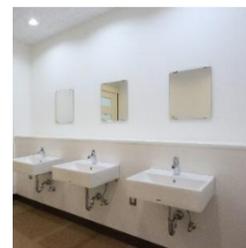
展望ロビー（相生湾を望む）



会議室



揚艇施設



ロッカー（更衣室）



修理庫



ロッカー（更衣室）



乗艇場

■相生ペーロン海館 施設概要

船舶保管施設

用途	ペーロン船艇庫、交流スペース
構造	鉄骨造2階建
延床面積	1,053.57㎡
1階	ペーロン船艇庫（格納艇数14艇） 修理庫、倉庫
2階	管理室、更衣室、シャワー室、トイレ 展望ロビー、会議室

揚艇施設

用途	海上からの船の昇降
構造	鉄骨造平屋建（ウインチ庫）
延床面積	22.09㎡（同上）
設備	電動ウインチ、引揚台車

乗艇施設

用途	ペーロン船の着岸、乗船
構造	杭式係留施設
機能	4艇同時着岸（2艇着き乗艇場×2基）

駐車場

駐車台数	96台
------	-----

開館日及び開館時間

開館日	4月～10月：水曜日を除く毎日 11月～3月：土・日・祝日 （12月29日～1月3日は休館）
開館時間	10時～16時